



散歩道

第 21 号

啓発重点目標 「誰かのことじゃない」

毎年 12 月 4 日～10 日を入権週間と言います。

未だ新型コロナウイルス感染症では、ワクチン接種の有無に関係した人権問題も発生しています。また、インターネット上での誹謗中傷や差別を助長するような情報の発信は後を絶たず、SNS上でのいじめも社会問題となっています。

このように、様々な人権課題が依然として存在していますが、これらは決して、自分以外の「誰かのこと」「自分には関係のないこと」ではありません。人権問題を自分や自分の身近な人の問題としてとらえ、互いに人権を尊重し合うことの大切さを認識し、他人の人権にも配慮した行動をとることができるようになることが大切です。

人権週間とは、自分も周りの人々も一人ひとりが違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることを考える 1 週間です。



トピックス

人権フィールドワーク

令和 4 年 10 月 14 日(金)実施

京都 人権ゆかりの地を訪ねるバスツアー

目的地：伏見稲荷大社、耳塚・豊国神社・方広寺、全国水平社創立の地



千年の時を超えて都であり続けた京都は、様々な立場の人々がたくましく生き抜いた、人権文化の伝統が歴史の中に脈々と息づくまちです。そうした先人たちの足跡を振り返り、京都市内に数多く存在する名所・旧跡等の中から、人権にゆかりのある地を訪問してきました。

まず、渡来系の秦氏が五穀豊穰を願って農耕の神を祀ったという伏見稲荷大社を参拝し、豊臣秀吉に関係している 3 つの地（耳塚・豊国神社・方広寺）や水平社創立 100 年の地を入権ガイドさんに説明を受けながら訪問・学習をしてきました。

「加西市人権尊重のまちづくり条例」を制定

加西市は、すべての市民等が真に大切にされ、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指し、「加西市人権尊重のまちづくり条例」を令和 4 年 10 月 1 日に公布・施行しました。

この条例は、誰であっても人種・民族・国籍・信条・性別・性的指向・性自認・障がい・疾病・職業・年齢・出身・経歴等を理由に差別的な発言や行動をしてはいけないことだと定めています。また、人権侵害を前もって防ぐことや、人権侵害が行われた場合の相談支援についても定めています。





主な人権啓発事業



長島愛生園 訪問研修

令和4(2022)年11月1日(火)実施

偏見や差別に苦しまれてきた、ハンセン病回復者の多くが生活されている国立療養所の長島愛生園を訪問しました。加西市では平成18年に「ハンセン病差別撤廃宣言」を制定し、公募で毎年訪問しています。強制隔離され、社会から置き去りにされた回復者の方々も高齢化が進み、108名が生活されています。平均年齢も88歳となっているそうです。施設見学と同時に回復者から当時の様子をはじめ、現在の心境などをお聞きしました。

《参加者アンケート》※多くのご意見をいただきました。その一部を掲載いたします。

- ・ 厳しい人生の中、「生きる」という前向きな姿勢に共鳴させられた。
- ・ 入所されてから現在に至るまでの大変さが身に染みて伝わってきた。

映画観賞会

「ケアニン」～あなたでよかった～ 12月11日(日)アスティアかさいで上映予定

新人の介護福祉士、圭が働き始めた郊外にある小規模介護施設。認知症の高齢者たちと上手くコミュニケーションが取れず、悩む日々が続くなか、初めてメインで担当をすることになったのは、認知症の星川敬子79歳。試行錯誤しながらも、先輩スタッフたちの協力もあり、少しずつ敬子との関係性を深めていく。「なんとなく」で始めた介護の仕事に、いつしか本気で向き合うようになっていく圭だったが…。

身近な人権問題

人権にかかわる身近な話題を提供します



「もっと温かい人の世を、ともに」 ～全国水平社創立100周年～

全国水平社が1922年3月3日に創立されてから、今年で100年を迎えました。あらゆる人間の多様なアイデンティティが肯定される社会を創造し、差別を許さない社会を構築していこうという水平社創立の理念は、多くの人々の共感を呼び、部落・民族・外国人・感染症など差別を受けてきた人々の自主的な人権回復運動の展開に刺激と勇気を与えてきました。部落差別に対する理解と認識は着実に定着しつつあります。しかし、2016年12月に制定された「部落差別の解消の推進に関する法律」で「現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じている」と記されたように、インターネット上の差別的書き込み、結婚・交際・就職・職場における差別、差別発言、差別落書き等は依然として存在しています。

人や地域との出会いを大切に、ともにまちづくりに取り組むことによってこそ、偏見や差別は解消されていきます。水平社宣言から100年。人生100年時代と言われる今だからこそ、私たち自身が安心してルーツや故郷を誇ることができる環境を整える行動を起こす時ではないでしょうか。
(ひょうご人権ジャーナル「きずな8月号」より一部抜粋)

※人権啓発の各事業等は、加西市ホームページに掲載しています。(トップページ→「市政」→「まちづくり」→「人権」へ)

※表題「散歩道」という名称は、平成13(2001)年度まで人権啓発冊子で使用されていました。